



市議会議員 小西由希子

市民ネットワーク 小西由希子のまちづくり通信

発行：市民ネットワーク 編集：市民ネットワークちば・中央
〒260-0013 千葉市中央区中央3-13-17 TEL/FAX 043-223-7880

NO. 33

URL: <http://www.chibanet.gr.jp/kaiha/> E-mail: chuo@chibanet.gr.jp

市民ネットワークちばの 市議会議員

- 小西由希子（中央区）
- 福谷 章子（緑区）
- 湯浅美和子（美浜区）
- 長谷川弘美（花見川区）
- 常賀かづ子（稲毛区）
- 山田 京子（若葉区）

1億7100万円の赤字 放漫経営のツケは市民に！

—— 一般会計決算に反対しました ——

市税収入は2年連続で増加、前年度比2.5%の増ですが、そのうち約26億円は定率減税の縮減など税制改正によるものです。自主財源の割合は減少し、市債残高は増加を続け、市民一人あたりの借金は145万円です。実質公債費負担比率は24.8%（政令市中ワースト2位、25%で財政破綻！→タ張への道）で、財政健全化法施行を前に、市債管理基金からの借り入れを控えたり、病院・下水道会計への繰り入れを見直し、実質赤字比率をさげる抵抗の跡が見られます。放漫経営が日々のお財布すら脅かしつつあるわけで、そのツケが一挙に市民に回ってきたのではなりません。

18年度の建設事業費689億円のうち、38.8% 267億円は、蘇我臨海部、中央第6地区、西口再開発へつぎこまれています。大型公共工事への投入を減らし、市民の生活に直結した事業を温存すべきです。

市民ネットでは、身の丈以上の借金で事業を進めるのではなく、将来負担を少なくすることをこれまでも求めてきました。今後は市民生活に必要な予算まで削られないよう、20年度予算編成や、第2次5カ年計画の見直しから目が離せません。

予算の選択と集中が問われる中、予算編成過程の公開と第2次5カ年計画の見直しへ市民意見取り上げ、市民が納得する手法を示すべきと考えます。

「千葉市出前講座」を活用し、意見交換会を開催しました

① 「かわいませ 高齢者の医療制度」保健福祉局保険年金課

9月4日（火） 中央ネット事務所

後期高齢者（75歳以上）医療制度は、平成20年4月から開始されます。都道府県単位の「広域連合」で、保険料の額を決定し、保険料は年金から徴収。今までと大きく違うのは、自分で保険料を払っていなかった健保組合などの被扶養者も保険料を負担しなければならないこと。また、70歳～74歳までの高齢者は、医療を受ける時、1割から2割に自己負担が引き上げられる等、新制度の説明を受け、20代から80代までの参加者から活発な意見が出されました。



「年金生活なのに負担ばかり増えて先が心配だ。」「広域連合での話し合いはどこまで進んでいるのか？」「若者への負担転嫁は困る」など。市民ネットでは、高齢化社会が進む中、増加し続ける医療費に対し、個人負担が増えるのもやむをえないが、低所得者に対する配慮が必要だと考えます。

参加者から

「後期高齢者医療制度への心配」

安部政権から福田政権に変わり国民へのご機嫌取りの第1に「後期高齢者医療」の部分凍結を掲げたことは、何とも茶番劇的感が否めない。凍結の対象は①70～74歳の一般所得者の窓口負担を現行の1割から2割に引き上げ②75歳以上の一部高齢者からの新たな保険料徴収、の2点だが、利用者にとって一部の人には朗報ではあるが、「弱者救済の施策に見えるが、公平な負担を求めるといふ新制度の理念と矛盾するのでは？」「子どもが県外居住のため、国保に加入する高齢者が多く負担凍結を手放しでは喜べない」などの声もある。そして広域連合なる組織の詳細説明がされていないこと、1700億円とも言われる財源不足をいかに補填するのか？も心配の種でもある。（東千葉 S.S）

Qiball(きぼーる)オープン！

10月20日「Qiball」が完成。3階～15階は市の施設（中央保健福祉センター・子ども交流館・子育て支援館・科学館・ビジネス支援センター）がはいっています。

ビルの用地費を含めた総事業費は423億円。今後の維持管理費と運営経費は、5施設合せて年間約10億円かかり、市の財政を圧迫し続ける「財産」でもあります。多額の税金をかけているのですから、多くの利用者を集め、市街地の活性化にもつながる施設となるよう、意見や提案をし続けましょう。

市民が関わり魅力ある科学館に！

ワークショップでボランティアしています

「おもしろいよ！何度も行きたい千葉市科学館とな～れ！」

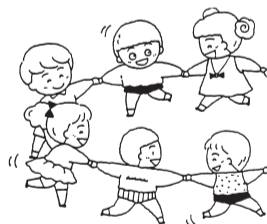


不思議や発見が体験でき、楽しさを感じ、科学への関心を深めてほしいとの思いをこめてオープンした科学館です。わくわくし、なにか発見がありそう、触ってみたい、試してみようと思えるように、各階に、ワークショップで「自分で作る工作」を企画し、90人程のボランティアが交代で担当します。1ヶ月毎に新しいものへと変わります。展示は、触ってみる、体で感じる、じっくり説明へと工夫がされています。市民の意欲が膨らみ、育てていく科学館をめざしたいと思います。

東千葉 中村久美子

市民ネット3つのルール

- ・議員は市民の代理人。原則2期で交代し、職業化・特権化しません。
- ・選挙はカンパとボランティアで。
- ・議員報酬は、市民の政治活動資金にも活用。使い道はすべて公開。



② 「保育所って楽しいよ～！みんな仲良し保育所なかま」保育課

9月9日（日） 生涯学習センター・大研修室

保育所入所の条件、申込方法・時期、保育所の一日の生活、地域の子育て支援としての所庭開放・子育て相談について等説明を伺い、お子さん連れの方や若いお父さんもみえ、熱心な質疑応答もありました。

- Q. 公立でもっと20時までの延長保育ができないか。
A. 各区で一部実施しているが利用者は少ない。
夕食の問題や長時間保育が子どもにとって良いかという問題も。
- Q. 一時保育の利用条件が厳しい。
A. 希望者が多く、対応できない。 など・・・

後日参加者から、現在の公立保育所の行き届いた保育で安心して仕事ができるとし、多様な保育ニーズに対応できるという理由を掲げて財政難から民営化しようとする事への疑問を投げかけたお手紙をいただきました。民営化の問題を始め、子育てと仕事、子どもにとって望ましい保育のあり方等、一緒に考えていきましょう。